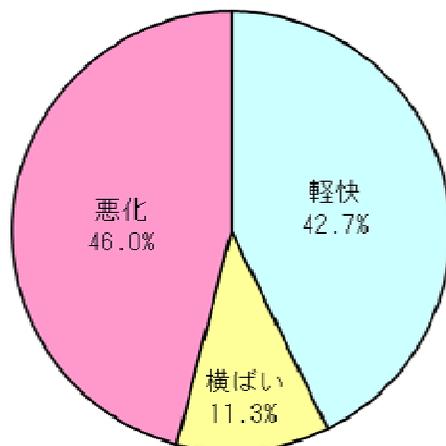
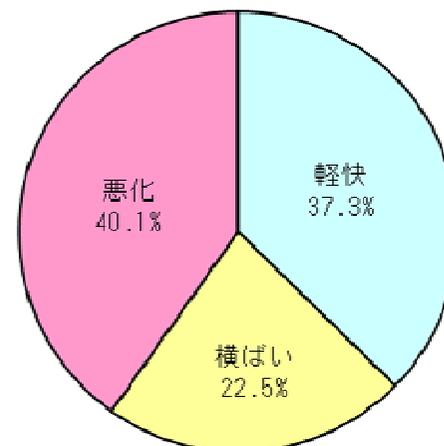


入院3か月後の医療区分の変化

3ヶ月後の医療区分変化
(軽快率 124病院)



3ヶ月後の医療区分変化
(病状の改善 142病院)



軽快率 $\text{軽快人数} \div (\text{軽快人数} + \text{悪化人数})$ で算出

病状の改善

+ (軽快) : 軽快率 > 50% (軽快人数 > 悪化人数)

0 (横ばい) : 軽快率 = 50% (軽快人数 = 悪化人数)

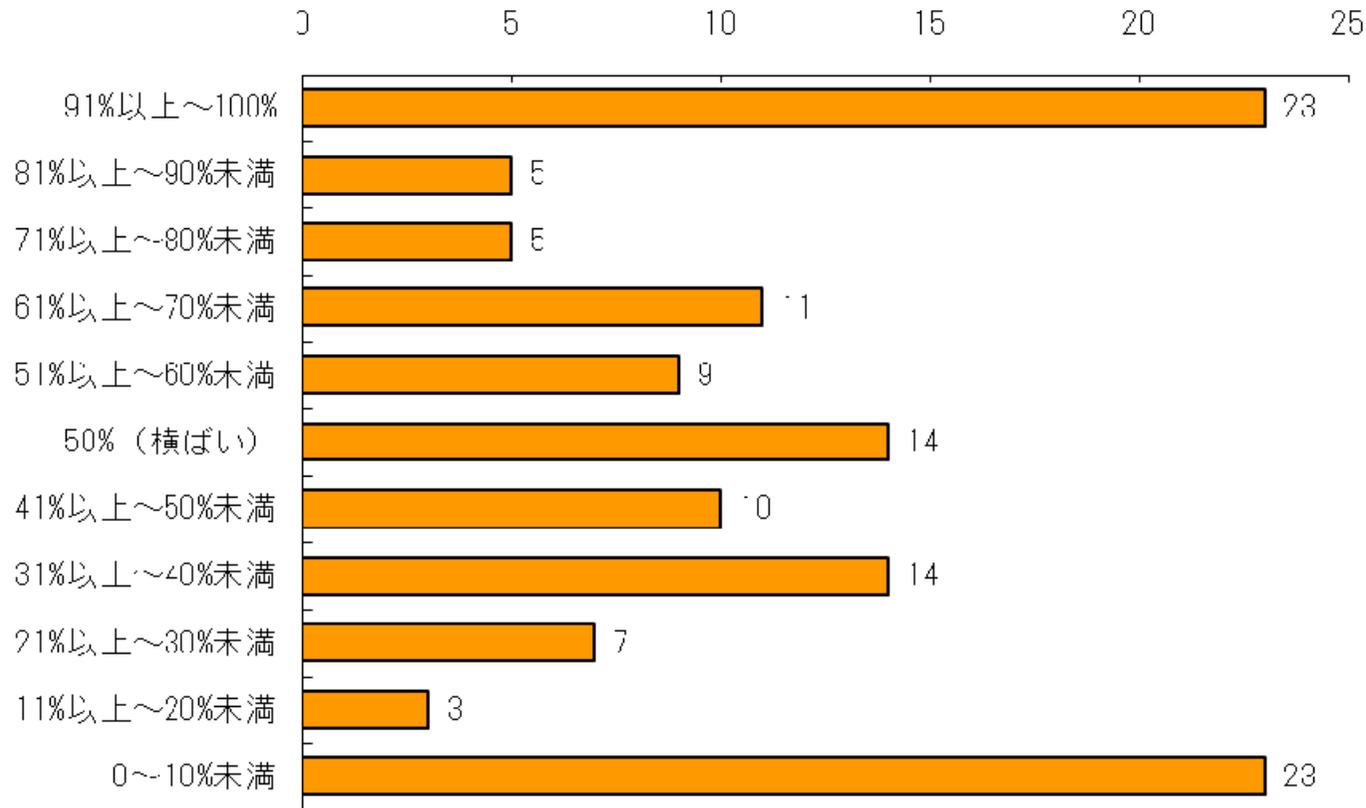
(悪化) : 軽快率 < 50% (軽快人数 < 悪化人数)

(- : 軽快人数、悪化人数共に0人のため、0(横ばい)とする。)

平成21年7月 日本慢性期医療協会

回答153病院のうち、3ヶ月の入院期間中、医療区分にほとんど変化が見られなかった病院および軽快・悪化が同数であった病院を「横ばい」とすると、32病院(22.5%)が「横ばい」であった。軽快患者が悪化患者より多い「軽快」が53病院(37.3%)、逆に悪化患者が軽快患者より多い「悪化」が57病院(40.1%)であった。

軽快率別の病院数



軽快または悪化した患者のいる病院で「軽快率」を見た場合、50%超が軽快患者の方が多い病院、50%が横ばいの病院、50%未満が悪化患者の多い病院となる。

本調査結果から、91%以上の「軽快」が23病院(18.5%)、10%未満の「悪化」が同じく23病院となっており、両極に分布が見られる。
軽快率 = 軽快患者 ÷ (軽快患者数 + 悪化患者数)